

2026 年 9 月 24 日

各位

会 社 名 Chordia Therapeutics 株式会社
代 表 者 名 代表取締役 三宅 洋
 (コード番号：190A 東証グロース市場)
問 合 せ 先 コーポレート部長 岡谷 大
 TEL : 03-6661-9543
 MAIL : info@chorditherapeutics.com

Rogocekib 初期拡大コホートの症例登録完了に関するお知らせ

Chordia Therapeutics 株式会社（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役：三宅洋）は、rogocekib の米国第 1/2 相臨床試験において、初期拡大コホート（Initial Expansion コホート、以下「IE コホート」という。）の症例登録が完了となりましたので、お知らせいたします。

当社は、米国において、再発または難治性の急性骨髄性白血病（AML）および骨髄異形成症候群（MDS）の患者を対象とした rogocekib の第 1/2 相臨床試験における拡大コホートを進めています。拡大コホートは、IE コホートと追加拡大コホート（Additional Expansion コホート、以下、「AE コホート」という。）の 2 段階構成で実施する FDA の Project Optimus のガイダンスに基づく計画です。IE コホートは 2026 年 3 月に開始しましたが、この度、予定していた 28 症例全例の登録を完了し、最後の被験者への初回投与を実施いたしました。

当社は、引き続き被験者の安全性を最優先に、開発計画を着実に推進してまいります。また、IE コホートで得られたデータを解析し、AE コホートの開始に向けた準備を進めてまいります。

本件は当社の開発計画に沿った進捗であり、今後、公表すべき進捗が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

Chordia Therapeutics 株式会社について

当社は、臨床開発品を擁するがん領域専門の研究開発型バイオベンチャーとして、神奈川県藤沢市に本社を置き活動しています。当社のリードパイプラインである CLK 阻害薬 rogocekib (CTX-712) は、米国での第 1/2 相試験を進行中です。rogocekib は、がんの脆弱性をターゲットにしており、有望な治療薬としての可能性が期待されています。また、当社は、リードパイプラインの



rogocekib、MALT1 阻害薬 ocipumaltib（CTX-177）に加え、CDK12 阻害薬 CTX-439、GCN2 阻害薬など、複数のパイプラインの研究開発に取り組んでいます。

詳細は、当社ウェブサイト（<https://www.chorditherapeutics.com/>）をご覧ください。